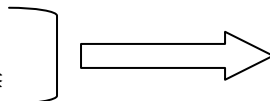


これまで

1980～ 米作中心 第一次産業（人口の約9割）
 1991 パリ平和協定
 1993 UNTACによる総選挙



新生カンボジア誕生



- 1993's ①計画経済から市場経済への転換開始
 1994 ②国際援助機関等による援助依存型経済の成立
 1995 ③外資による労働集約的な繊維縫製業の急成長
 1997
 ～1998 ④政情不安問題と（内部闘争）アジア通貨危機の影響
 →外国からの投資減退→経済低迷
 1999 ⑤ASEANへの加盟等による地域経済化

世界的に期待の国

現在の特徴

- ① 伝統的産業と近代的産業の二重構造
 伝統的産業：農業、観光資源を利用 近代的産業：工業
- ② 比較優位を有する農業と観光資源アンコールワット遺跡群
 比較優位：他の国に比べて比較的優位なこと
- ③ 成長する輸出型労働集約的繊維縫製工業
- ④ 国際援助機関等による支援への依存経済
- ⑤ 自由化と規制緩和、国際化の急速な進展
- ⑥ 所得の格差拡大→都市部と農村部、都市部中心と都市部郊外

ASEANからみるカンボジア

第一グループ：シンガポール、ブルネイ

GNP→954億ドル 一人あたり→29,610ドル

第二グループ：マレーシア、フィリピン、タイ、インドネシア

（80年代に経済に変化がおきたところ）

GNP→800～900億ドル 一人あたり→1500ドル

第三グループ：カンボジア、ミャンマー、ベトナム

政治的要因で発展が遅れた国、90年代に経済に変化アリ